

LRRRI 令和3年度第1回理事会（役員会）議事録

- ◆日時：令和3年8月6日（金）14：00－16：00
- ◆会議形式：オンサイト（茨城大学駅南サテライト会議室）＆オンライン（Zoom）のハイブリッド
- ◆出席者：
 - 安原一哉 代表理事
 - 岸田隆夫 副代表理事（オンライン参加）
 - 須田裕之 副代表理事
 - 小浪岳治 理事（オンライン参加）
 - 伴 夏男 理事（オンライン参加）
 - 田中富士夫 理事（オンライン参加）
 - 丸山 泉 監事
 - 霜越直樹 監事
 - <欠席>岡本昌弘 理事
 - 【事務局】廣野礼子

◆議題

【審議事項】

1. 新入会員の承認について（安原）【資料 1-1】

➢エターナルプレザーブ(株)様（賛助会員）、(株)新日本コンサルタント 助田勅史様・保坂技術士事務所 保坂雅夫様・（一財）土木研究センター 了戒公利様（個人会員）、茨城大学大学院理工学研究科 榎本忠夫准教授（協力会員）、茨城大学大学院都市システム工学専攻 修士 1年 浅野太我様（学生会員）の入会申し込みについて、異議なく承認された。

2. 「社会インフラテック展」への展示応募について（田中）【資料 1-2】

➢「社会インフラテック展」（2021年12月8日（水）から10日（金）開催）にLRRRI及びインフラリハビリ研究会 FS 工法分科会メンバーのメーカー4社で出展し、出展費用については関係5社で負担することで基本的に合意した。

3. 総会について（安原，須田，岸田，丸山，霜越）【資料 1-3】

1) 議事次第（手続き、スケジュールの確認）

①事業計画（6/30代表理事⇒（監事⇒）8/6理事会⇒8/25社員総会⇒予算計画）

②決算（7月30日代表理事⇒監事⇒8/6理事会⇒8/25社員総会）

2) 特別講演会ご案内（安原）【資料 1-3-2】

3) 会員報告会ご案内（安原）【資料 1-3-3】

➢ 1) 代表理事より、議事次第について第4号議案追加の報告があり承認された。併せて、第2号議案について監事・税理士間で精査し、修正がある場合は当該箇所を正し、正式文書を完成さ

せることが承認された。なお、会員の皆様への議事次第及び議案関連資料配信について総会開催 2 週間前の 8 月 11 日（水）までが望ましいとの意見が出され、修正状況によりその旨ご説明の上、正式文書を総会当日に配布することで合意された。

- 2) 資料に基づき、特別講演会の演題について再度確認があった。
- 3) 代表理事より、会員報告会の現在の応募数報告及び確保できる発表時間の確認があった。

4. 総会に出席する社員【資料 1-4】

➢ 令和 3 年度総会に出席する社員について、役員 9 名・設立時の法人会員 9 社とすることが承認された。併せて、代表理事より推挙された個人会員 2 名を社員にとの提案があり承認された。なお、当 2 名の個人会員については令和 3 年度からの社員候補とし、令和 3 年度総会において議決権は有しないことで合意した。今後に向けて社員名簿を作成するのが良いとの提案があり、その旨承認された。

5. 令和 3 年度事業計画（案）と概略予算（案）（安原）【資料 1-5】

➢ 3. 総会についての審議において、資料に基づき報告・確認があり異議なく承認された。

6. 「地域国土強靱化研究所」研究会等運営規定と地域国土強靱化研究所内規の見直し（安原）【資料 1-6】

➢ 協力会員・学生会員の入会にあたり、運営規定（会員）第 3 条に追記し一部改訂とすることが承認された。なお、内規（年会費及び関連事項、入会金）1. - ⑤にも学生会員の記載が必要との意見が出され、追記することで承認された。

7. LRRI における ICRT 業務と HP の更新について（須田）【資料 1-7】

➢ オンライン環境サポートについて、会員の方々に向けたサービスを中心としてスタートし将来的には受託業務となるよう事業化を進め、今後会員の皆様にサポートの必要性についてヒアリングしていきたいとの意見があり、了承された。ビジネスモデルを図示したヒアリング資料を作成するのが良いとの提案を受け、至急作成することで合意された。

【報告事項他】

1. 設立 1 周年記念フォーラム報告（岸田）【資料 1-8】

➢ 結果として、会員 18 名・非会員 58 名の参加を得ることができ、参加いただいた非会員の中から会員申し込みが数件あり PR 効果もあったとの報告があった。

2. 「役員だより」8 月号の担当

➢ 今後の執筆担当については、代表理事と役員交代制、8 月号は岡本理事または小浪理事に担当を依頼することで合意した。（役員については 50 音順）